

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニトリ大船店新築工事	階数	地上2F
建設地	鎌倉市岩瀬下土腐1218-1の一部,他11筆	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年5月20日
敷地面積	9,323 m ²	作成者	株式会社T&N北海道設計事務所
建築面積	4,907 m ²	確認日	2016年5月20日
延床面積	8,796 m ²	確認者	株式会社T&N北海道設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	1.5
光・視環境	4.0
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.6
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	2.7
汚染物質回避	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮	4.1
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	2.1

3 設計上の配慮事項	
総合 敷地内には多くの緑化と事業者が自主管理する広場を設け、周辺環境に配慮した計画とした。	その他 景観条例に基づき、外壁色等配慮した計画としている。
Q1 室内環境 売場の空調は、作業室で一括制御している。	Q2 サービス性能 売場の天井は、耐震を考慮した工法としている。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には条例に基づき緑化を設け、室外機やキュービクルは建物上もしくは建物際に設けている。	
LR1 エネルギー 省エネルギー法に基づき計画しています。電気の使用量を抑えるため、デマンド制御を行っている。	LR2 資源・マテリアル 衛生陶器は、自動水栓に加えて、節水型便器を採用。建築材料は、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。
	LR3 敷地外環境 敷地境界及び道路境界に極力緑化を設けている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される